

全国初の有線放送を行う

い け な が り ゆ う し ょ う

池永 隆勝

1913-1998

◆神戸で新しい文化にふれる

1913 年（大正 2）1 月 5 日池永隆勝は、牧村大字原（現・牧区原）の明願寺に父僧隆と母チヨの間に生まれました。病弱な隆勝は原小学校を卒業後、京都平安中学校に学びますが、結核のため神戸市の親戚医師宅で 1 年間の療養生活を余儀なくされました。この時、隆勝は親戚の西洋館 2 階でラジオ、レコードを自由に聞き、1929 年（昭和 4）の神戸にあふれる西洋文化の香りを十分吸収しました。

◆帰郷してラジオの共同聴取を開始する

1930 年（昭和 5）、隆勝は病気治癒の見込みのないまま帰郷します。すぐにラジオを購入して放送受信に努めますが、牧村は電波状況が悪く、安定受信が可能になったのは、24 時間電気供給が行われる 1936 年（昭和 11）からでした。1937 年（昭和 12）隆勝は、自分のラジオと近所の佐藤理容店のスピーカーとを針金（有線）で結び「共同聴取」を始めました。同年は 3 戸でしたが、村民の要望で範囲は年々拡大し、1945 年（昭和 20）には 560 戸を数えました。

◆村民のために自主放送を行う

放送は朝 5 時から夜 0 時まで NHK 番組と自主放送で編成されました。自主放送では隆勝が火事、配給、出征・戦死など役場からのお知らせを伝えました。戦後も要望に応じて、高出力アンプやチューナー、レコードなどを購入して自主放送の充実をはかりました。

1968 年（昭和 43）、この有線放送は TV の普及により役割を終えますが、約 30 年に及び多額の私費を投じて機器を備え、情報を伝えた隆勝の功績は大きいものでした。

◆教育者として地域に貢献する

隆勝は有線放送の充実に加え、住職、日曜学校の開催、文芸誌編集など多忙な日々を送り、いつの間にか結核は全快していました。晩年まで牧村教育委員長を務めるなど地元社会に貢献した隆勝は 1998 年（平成 10）11 月 3 日 85 歳で亡くなりました。